

第72回日本PTA全国研究大会川崎大会

期日：令和6年8月23日（金）～24日（土）

場所：神奈川県川崎市 川崎市とどろきアリーナ

『ウェルビーイングの実現を、川崎の地から』活かそう「縁」の力』を大会スローガンに、今年度の日本PTA全国研究大会が神奈川県川崎市で開催され、本県からも24名の会員が参加しました。

今回の大会は、1つの会場に全国からの参加者全員が集まっでの開催となり、大会メインテーマは『社会の大きな変化を学び、進化を考えるPTA活動』『自己肯定感を高め合い、活力あるPTA活動』『誰も取り残さない、居場所を大切にすPTA活動』でした。大会の様子を2回に分けて報告します。

8/23・24の二日間、神奈川県川崎市を会場に全国研究大会が開催されました。例年行っている分科会を行わず、全日程一会場での開催でした。テーマには「ウェルビーイング実現を」。

「Wellbeing」を訳すと「幸福」。WHO（世界保健機関）では「個人や社会のよい状態。健康と同じように日常生活の一要素であり、社会的、経済的、環境的な状況によって決定される。」とあります。「日本人の幸福度は低い」と言われる中、このテーマを掲げる事は非常に

重要であり、この考え方を広める必要があると感じながら参加してきました。盛りだくさんの内容の研究大会で、現地では理解出来なかった事を帰宅してから復習するほど考えさせられました。今後、微力ながら岩手の為に何かをし

なければと感じながら帰宅しました。

「子供も一人の人格者」その人格者を育てる為の教育。現在は考え方や価値観も大きく変化している中、枠を越える事も必要で柔軟に考えていく事が重要だと再認識させられました。皆さんが「Well-

being」でいられるために・・・

（柏台小学校・高橋貴士
県P連副会長）

「ウェルビーイングの実現を、川崎の地から活かそう「縁」の力」をスローガンに、全国から約3,000名のPTA関係者が参加し開催されました。

1日目は川崎市とどろきアリーナで基調講演、2日目は様々なセッションと記念講演が行われました。

セッションでは「誰もが幸せに暮らせる社会の実現に向

けて」をテーマに、教育評論家、親野智可等氏のエネルギーギッシュでユーモアたっぷりのパフォーマンスで、会場が一体となり、ほめ写の取組みについて興味深く聞かせていただきました。記念講演は、心理学の専門家である、前野マドカ氏からウェルビーイングを社会に広げることの大切さ、個人の小さなアクション

と仲間や周囲との協調が大きな力となることについて、実践発表を最後まで飽きさせず聞くことが出来ました。

新しい時代を生きる子供たちの成長に繋がる大きなヒントをいただくことが出来た素敵な大会でした。

（北上中学校・渋川誠親
県P連副会長）

